

平成15年の穂いもち多発生
(4) 水稻品種「まなむすめ」のいもち病ほ場抵抗性

古川農業試験場

1 取り上げた理由

水稻品種「まなむすめ」は良食味であり、いもち病に対するほ場抵抗性も葉：やや強、穂：強であることから、低コスト栽培、減農薬栽培などでの普及が期待される。平成11年度のいもち病中発条件下における「まなむすめ（無防除）」での穂いもち発生は、薬剤5回防除（葉いもち2回、穂いもち3回茎葉散布）の「ひとめぼれ」と同程度であることを普及に移す技術74号で報告した。本年度いもち病甚発生下での「まなむすめ」のほ場抵抗性の強さが確認できたので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 穂いもち甚発生条件下における無防除で栽培した「まなむすめ」での籾いもちや穂いもちの発病穂率は、無防除栽培または箱施用剤を処理した「ひとめぼれ」での発生に比較し明らかに低く、特に穂いもちの重症穂の割合は低い。（図1，4）
- 2) 葉いもち発生最盛期や上位葉における「まなむすめ」での葉いもちの発生は、「ひとめぼれ」での発生に比較し少ない。（図2，3）
- 3) 「まなむすめ」のいもち病抑制効果は、葉いもちよりも穂いもちで顕著であった。（図1，2，3）

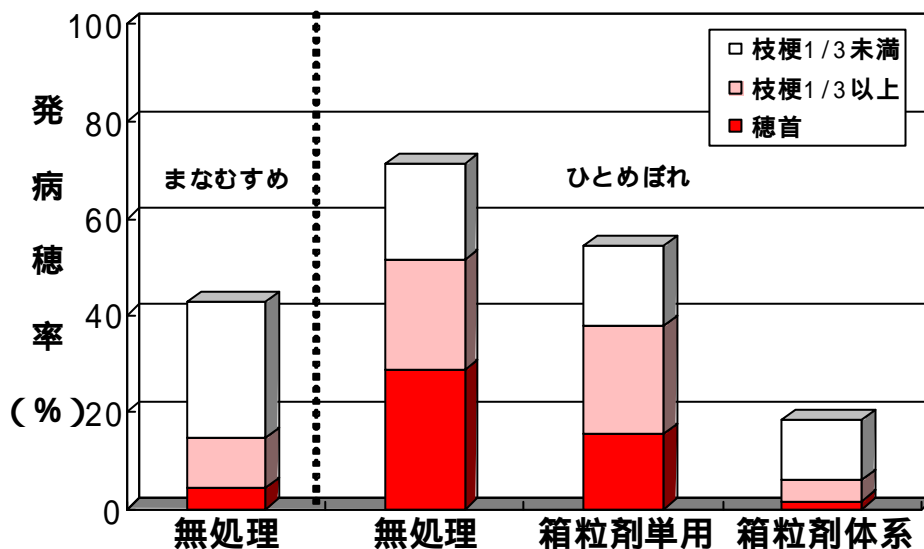


図1 穂いもち発生状況 (9月22日調査)

注) まなむすめ 抵抗性(葉：やや強 穂：強) 真性抵抗性遺伝子：Pii
ひとめぼれ 抵抗性(葉：やや弱 穂：中) 真性抵抗性遺伝子：Pii
箱施用剤単用：ウィン箱粒剤移植当日
箱施用剤体系：ウィン箱粒剤移植当日+ブラシフロアブル穂揃期散布

3 利活用の留意点

- 1) 出穂日はまなむすめ、ひとめぼれとも8/15，不稔歩合は隣接無防除ほ場（県予察圃）でまなむすめ8.2%（出穂日8/17）ひとめぼれ5.3%（8/14）である。
- 2) 多発条件下ではほ場抵抗性のある「まなむすめ」でも防除を行う必要がある。

（問い合わせ先：古川農業試験場作物保護部 電話0229-26-5108）

平成16年4月作成

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

農作物有害動植物発生予察事業：平成15年

2) 参考データ

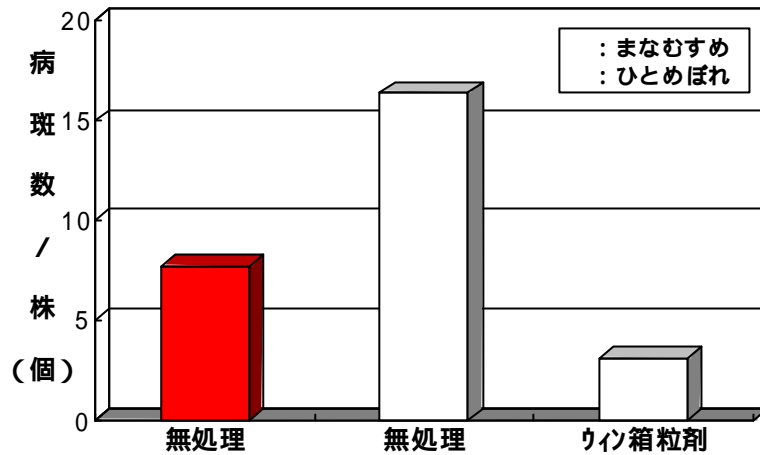


図2 葉いもち発生状況 (7月28日調査)

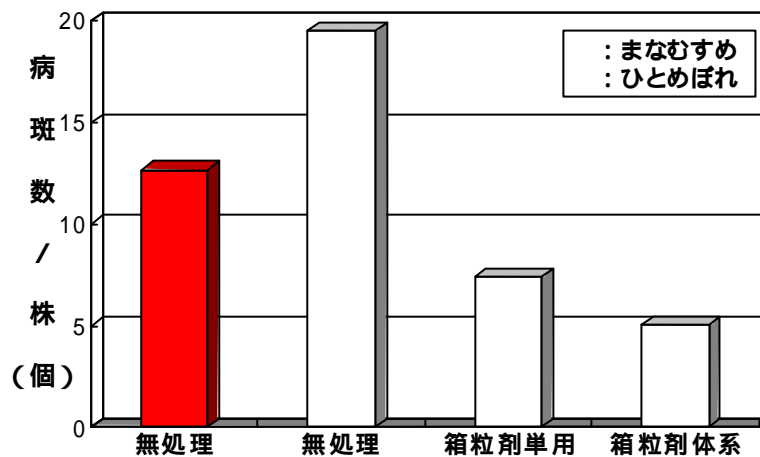


図3 上位3葉葉いもち発生状況 (8月25日調査)

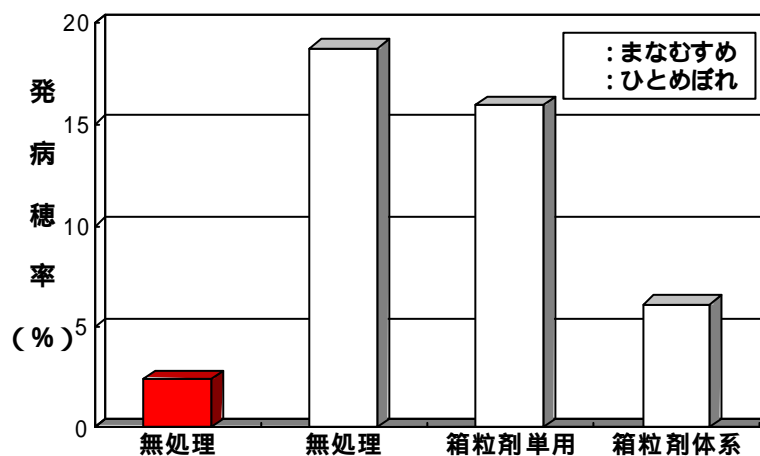


図4 籾いもちの発生状況 (8月25日調査)

3) 発表論文等 特になし